

12月の衛研検査情報

～トピックス～

アレルギー物質を含む食品の検査結果（その2）

アレルギーの原因となることが知られている原材料のうち、発症数の多いものや重篤度の高い7品目（卵、乳、小麦、そば、落花生、えび、かに）が特定原材料として指定されています。横浜市では主に食品に特定原材料の表示がないものの検査を行い、食品の安全を確認しています。

主な結果 平成28年9月および10月に食品製造所から収去およびインターネット通販で買取した、特定原材料を使用していないとされる食品（卵29検体、乳17検体、小麦8検体）について検査を行ったところ、1検体で卵陽性でした。

平成28年10月に小学校の給食施設から収去した、特定原材料を除去した給食（卵除去8検体、乳除去14検体）について検査を行ったところ、すべて陰性でした。

残留農薬検査（その3）

衛生研究所では、横浜市内に流通する農産物等の食品に残留する農薬の検査を行っています。今回は、平成28年9月および10月に収去した農産物等の検査結果を報告します。

主な結果 市内産農産物29検体について検査を行ったところ、葉だいこん、ブロッコリー各1検体、こまつな2検体から、3種類6項目の農薬が検出されました。

国内産農産物9検体について検査を行ったところ、きゅうり1検体、キャベツ2検体から、5種類6項目の農薬が検出されました。

野菜冷凍食品・冷凍果実2検体について検査を行ったところ、いちご、ほうれんそう各1検体から、2種類2項目の農薬が検出されました。

いずれも残留農薬の基準値を超えるものは、ありませんでした。

衛生研究所WEBページ情報

横浜市衛生研究所WEBページは、感染症情報や保健情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報、薬事情報などを提供しています。検査情報月報では、アクセス件数をもとに、どのような情報に関心が寄せられているかを解説しています。



主な結果 平成28年11月は、大麻（マリファナ）、クロストリジウム-ディフィシル感染症、横浜市インフルエンザ情報、マイコプラズマ肺炎に関するページのアクセスが多くみられ、総件数は127,195件でした。



詳しくは横浜市衛生研究所ホームページを御覧ください
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/inspection-inf/>



横浜市衛生研究所では、所内で行われた試験検査等の結果に解説を加えて、毎月、「検査情報月報」として報告しています。